

【主な質疑応答の要旨】

株式会社 Ubicom ホールディングス

2024 年 3 月期 第 2 四半期決算オンライン説明会

(2023 年 11 月 15 日開催)

SBI 証券ウェブサイトで開催いたしました本説明会の講演部分は、下記リンクよりオンデマンド動画にてご覧いただけます。

動画リンク：[2024 年 3 月期 第 2 四半期決算オンライン説明会](#)

※本動画の公開期間は、公開日より約 3 カ月を予定しております。

- **イスラエルの企業と提携していますが戦争の影響が業績にありますか？**
イスラエルの企業との提携をしておりますが、マーケットはイスラエルだけでなく米国も含めて行っておりますので影響はございません。
- **大手との提携について業種等をお聞かせいただく事は可能でしょうか。**
業種につきましては、非開示でございます。ローンチしましたら開示させていただきます。
- **私の身の回りにあるクリニックを見てますと未だに電子カルテを導入してない所は65歳以上の医師の先生が運営しているような所しかないように思えるのですが、このようなクリニックでも今後電子カルテを導入するようになるのでしょうか。**
厚生労働省の「医療 DX 令和ビジョン 2030」による DX 化の加速、またマイナポータルやデータ共有などの関係もあるため 2030 年までに概ねすべての医療機関において電子カルテの導入が完了すると考えられます。
- **人材採用の確度があがっているかと思いますが育成状況はいかがでしょう。**
先日フィリピンの全拠点を訪問し、教育状況を確認しましたが日本語・技術ともに問題なく成長していることを確認致しました。
- **足し算では無い掛け算の M&A はまだですか？**
おっしゃる通りで、M&A は進めておりますが足し算のところが多い現状です。第 2 成長フェーズとして、M&A を含めた資本業務提携を計画しており、足し算の経営ではなく掛け算

の経営に資する M&A を実行するべく、国内、国外案件ともに、複数の案件について精査をすすめております。今しばらくお待ちください。

■ 採用を 350 名に増やすということは、利益が延びるのは 2024 年 3 月以降ということでしょうか。

直近で増員しながらトップラインを上げてまいりますので、利益につきましても 3Q・4Q で進めてまいります。業務提携のお話しが急遽前倒しに来ているという関係もございますので、人員は利益バランスを見ながら進めて行こうと考えております。2024 年の 3 月以降はさらに伸びていきますので中期計画が出せれば良いかと考えております。

■ 株価は一時的にコロナ前の水準まで下落してしまいましたが、2023 年から御社がどれくらいパワーアップされているとお考えか、社長の見解を教えてください。

コロナ水準まで下落したのは事実でございます。ただ我々は、第 2 成長フェーズに向けた戦略をオンタイムで進めておりますのでご理解頂ければ幸いです。さらにここから加速的にビジネスを展開して行こうと考えております。

■ 医療データの新規ビジネスですが、M&A での新規参入ですか？

我々には知財がありますので、そこでの新規ビジネスを近いうちリリースさせていただきますが、M&A での新規参入ではございません。既存のところでさらにスケールさせていただきます。

■ 日本での人員採用の状況をご教授ください。

日本での採用も進んでおりますが、そのほか韓国の優秀な IT 人材の採用も進んでおりません。

■ フィリピンペソに対して円安のトレンドが続いていますが業績に悪影響が出るのでしょうか。

ビジネス領域において為替リスクとしては、売上へのインパクトの他、原価であるフィリピンエンジニアのコストや、営業外費用における影響がございます。対策として前期より、ほぼすべてのお客様については、一定の水準よりも円安になった部分に関しては当社 50%、クライアント 50%という割合で負担頂いており、2023 年度 3 月期の下期より覚書を締結しております。フィリピン子会社、現預金の期末の為替評価損について、決算説明資料にある通り、日本円と評価洗い替えでマイナスになっています。今後も検討してまいります。

■ 2Q での進捗率が 30% ちょっとなのですが通期で下方修正などありますか？

今の段階では下方修正という概念はなく、計画通り推移していこうと考えております。

- **資本業務提携を視野にと決算説明書にありましたが、どのような業種と資本提携を考えていますか？**

こちらは非開示とさせていただきます。リリースのタイミングで数字を見え据えた上でご案内できればと考えております。

- **セグメント別の利益構成の実績を教えてください。**

2024年3月期第2四半期、終了時点で、営業利益については、グローバル事業33%、メディカル事業67%となっております。

- **中小病院向け、MQハイブリッドのマーケットサイズは、既存31億、新規31億の合計62億ということでしたが、全て取る想定でしょうか。また、何年かけて取る想定でしょうか。**

もちろんすべてを取りたいと考えております。厚生労働省の「医療DX令和ビジョン2030」によって2030年までに概ねすべての医療機関において電子カルテの導入が完了し、よりDX化が加速することが予想されるため、中長期的目線での事業拡大を見込んでおります。

以上